

## 令和6年度 抵抗加熱技術部会技術交流・見学会「メトロ電気工業株式会社愛知・本社工場」見学記

- 1.日 時：令和6年9月4日（水） 10:10～12:00
- 2.見学場所：メトロ電気工業株式会社
- 3.説明者：研究開発課 倉田課長、商品企画課 竹内課長他
- 4.出席者：13名（事務局2名含む）
- 5.概要：

今年度は前日（3日）に中部電力先端技術応用研究所の会議室をお借りして抵抗加熱技術部会を開催し、翌4日午前、愛知県安城市にあるメトロ電気工業愛知・本社工場見学会を実施した。当日は三河安城駅に集合し、路線バスを使って15分程で見学先に移動。バスの到着が遅れ、乗車したバスが小さかったこともあって大混雑となるなどのアクシデントがあったものの約10分遅れで現地に到着し、見学会をスタートした。

今回の見学会は、抵抗加熱技術部会員が赤外線加熱技術部会にオブザーバ参加していることもあり、抵抗部会委員からの要望を赤外線加熱技術部会長であるメトロ電気工業倉田様にご快諾いただき、実現した。コロナ禍以降はWEB会議を導入したこともあり部会の会議室参加者が減少する中で今回の見学会参加委員数は昨年の6名からほぼ倍増の11名となり、委員の期待度の高さが感じられた。



写真 1 会議室で会社概要の説明

はじめに会議室で倉田様及び竹内様より会社概要、主要製品、と同社の取り組みなどを分かりやすくご紹介いただき、その後展示室に移動。

展示室に入るとまず、トップシェアを誇るコタツ用ヒーターについて、様々な製品とその歴史に関する展示。また、同社のヒーターが採用されている生活家電、調理家電製品なども多数展示されており、さらには今年度同社が受賞された「第56回市村賞地球環境産業賞」のトロフィー、写真なども展示されており、同社の技術力の高さが感じられた。



写真 2 展示室



写真 3 倉庫で点灯デモ

続いて向かった先は製造現場。赤外線ランプヒーターの製造工程「①石英管カット⇒②フィラメント挿入⇒③抵抗溶接⇒④単管封止⇒⑤排気⇒⑥点灯検査（首球）⇒⑦カシメ⇒⑧プラズマ溶接⇒⑨単管碍子付け⇒⑩点灯検査（完成）」について、作業担当者による実演なども一部交えながら、分かりやすくご説明いただいた。

そこから倉庫に移動し、同社が持つ様々な種類のランプを製品展示により分かりやすく解説。その後の点灯デモでは大容量ヒーターを実際に通電。瞬時にオレンジ色に変わり、離れた場所でも十分な発熱が体感できた。

見学の最後は業務用電化厨房機器。赤外線ランプヒーターを使った焼き鳥、餃子、チャーハン、焼いもなどの調理実演が行われ、ちょうど昼前の時間帯だったこともあり多くの委員が試食に舌鼓を打った。



写真 4 焼き鳥の調理実演

最後は再び会議室に戻り、質疑応答。多くの質問が寄せられる中、倉田様がひとつひとつ丁寧に回答いただき、見学会を終了した。

限られた時間の中で製造工程の実演から実機見学、点灯デモ、そして試食までご対応いただき、委員の皆様は大満足で見学先をあとにした。



写真 5 本社建物を背景に集合写真